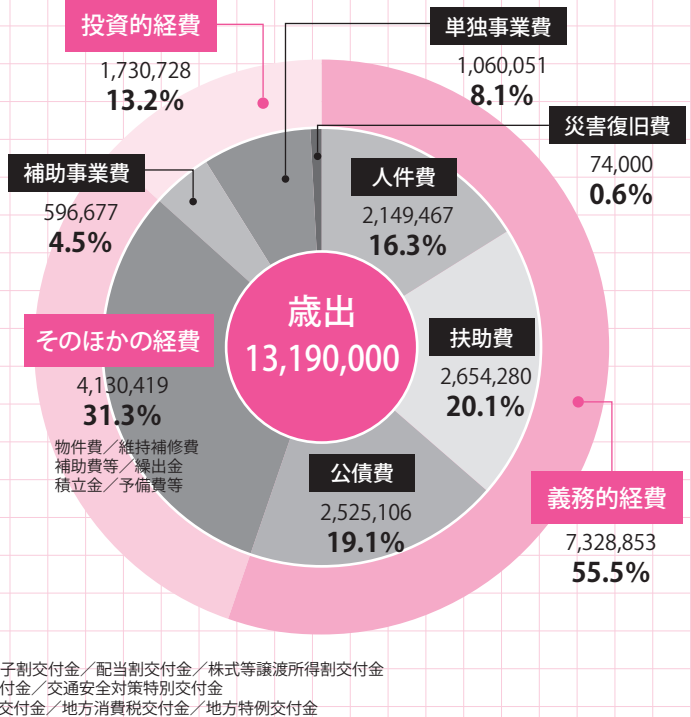
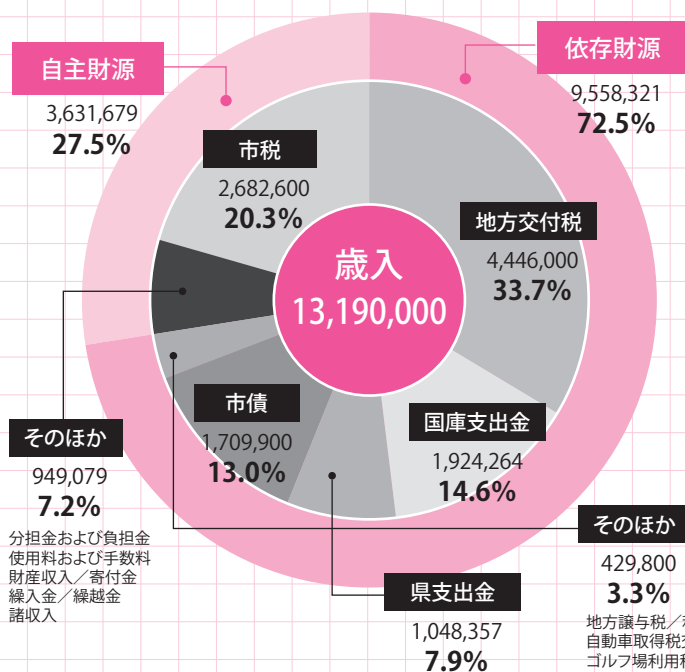


平成26年度 当初予算

～ 未来につながる安心の創造 ～

一般会計歳入歳出総額 131億9,000万円

■平成26年度須崎市一般会計当初予算の概要(単位:千円)



■各会計予算

会計名		平成26年度	平成25年度	増減額	増減率
一般会計(Ⅰ)		131億9,000万円	124億2,000万円	7億7,000万円	6.2%
特別会計	巡航船事業	3,442万5千円	3,540万5千円	△98万4千円	△2.8%
	バス事業	1,517万9千円	1,339万5千円	178万4千円	13.3%
	スクールバス事業	791万5千円	781万2千円	10万3千円	1.3%
	国民健康保険事業	34億6,674万5千円	34億4,886万円	1,788万5千円	0.5%
	後期高齢者医療事業	3億3,716万6千円	3億3,619万5千円	97万1千円	0.3%
	住宅新築資金等貸付事業	9,287万6千円	1億626万6千円	△1,339万円	△12.6%
	下水道事業	6億9,545万7千円	6億9,496万9千円	48万8千円	0.1%
	漁業集落排水事業	1,013万円	977万2千円	35万8千円	3.7%
	介護保険事業	27億9,047万9千円	26億4,100万7千円	1億4,947万2千円	5.7%
	計(Ⅱ)	74億5,036万8千円	72億9,368万1千円	1億5,668万7千円	2.1%
単純計(Ⅰ)+(Ⅱ)=(Ⅲ)		206億4,036万8千円	197億1,368万1千円	9億2,668万7千円	4.7%
会計間重複額(Ⅳ)		11億5,955万5千円	11億4,697万7千円	1,257万8千円	1.1%
純計(Ⅲ)-(Ⅳ)		194億8,081万3千円	185億6,670万4千円	9億1,410万9千円	4.9%

平成26年度予算編成においては、南海地震等災害に備えた避難道の整備や学校施設等の耐震改修など、緊急性・重要性の高い施策を最優先とし、限られた財源を重点的・効率的に配分しました。

歳入では市税が前年度当初予算額を上回る見通しです。しかし、地方交付税の減額が見込まれ、歳入全体としては厳しい状況が続いています。

一方で歳出は、少子・高齢化の進行等により、社会保障関係経費など扶助費が増加傾向にあります。また、重要懸案事業を実施するための財源として発行した市債の償還額が依然多額であり、公債費の高止まりが続いています。

市制施行60周年を迎え、将来にわたる持続可能な須崎市を作り上げるために、消費から創造への視点に立ち、須崎的文化の創造を実現するという新たな目標に向かって「安全」「安心」「活力」を柱に予算編成を行いました。